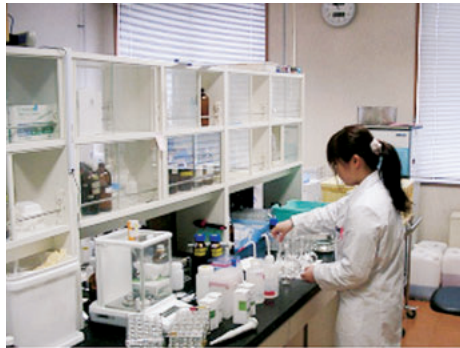
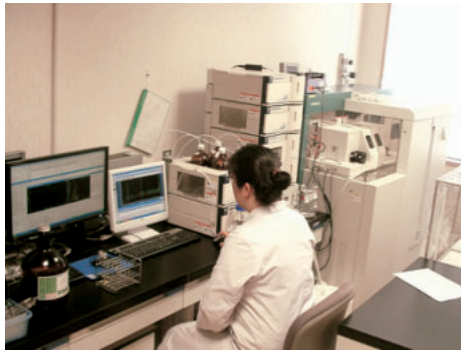


環境分析事業で培った豊富な経験とノウハウで食と健康へのエビデンス発見をサポート



会社データ

設立 昭和48年12月
 代表者 伊藤 聡
 資本金 5,000万円
 従業員数 103名

事業内容

- ・環境アセスメント・モニタリング調査、解析
- ・環境調査(海域・河川湖沼・陸域の生物・化学・物理環境)
- ・各種分析(水質・底質・生物他)
- ・水産関連施設の建築、土木の計画・設計
- ・食品成分や健康食品や機能性化粧品の機能性成分の分析・評価

エコニクスは、人間社会と自然環境との調和を目指す「環境ナビゲーション企業」として、様々な環境の調査・モニタリングやコンサルティング、そして各種化学分析事業などによる環境の評価や環境浄化・修復を展開。生態系や生物を得意分野とし、生物等を利用した毒性試験やバイオテクノロジーを取り入れた環境評価技術に取り組んできた。

さらに、これまで培ってきた各種成分の分析技術・ノウハウや新たな技術を用いて、「食と環境」をキーワードとした事業分野に新たに進出。健康食品、食品、天然素材などに含まれる各種機能性成分の分析・評価業務を本格的に開始した。食の健康に対する評価・分析サービスを多面的かつリーズナブルに提供することで、農業・水産業や食品製造業など、地域の基幹産業を総合的にサポートすることを目指している。

「食と健康」の新しい価値を創出

現在、食と健康への関心の高まりから、「身体に良い」とされる機能性成分が多く含まれる食品やサプリメントなどへの注目が高まっている。エコニクスでは、環境コンサルティング・分析事業で培った30数年来のノウハウと、新たな研究開発により、食品などに秘められた健康への事実を明らかにする「エコファインダープロジェクト」を推進。科学的手法により、食と健康へのエビデンスを、「安価」かつ「正確」に発見できるサービスを、魅力あるかたちで自治体、中小企業、生産者などに提供する取り組みを進めている。

地域食材のエビデンス発見をサポート

2010年には、最新の分析機器などを導入した「リサーチラボ」を開設(恵庭市相生町)。農産物や海産物等の食材や食品の中に、健康維持・増進の可能性を持つ機能性成分がどれくらい含まれているかを分析する「機能性成分分析サービス」を行っている。機能性成分は、産地や環境の影響によっても異なることが知られており、各種食材の「おいしい」という価値に加え、「身体によい」という価値を明らかにすることで、差別化・ブランド化を支援している。

このサービスの提供にあたっては、常に

顧客とのコミュニケーションを重視し、顔の見える分析サービスの提供と、アフターフォローも含めたコンサルティングを通じて、地域産業活性化への寄与を目指している。中核事業である海域・陸域における生物と環境に関する調査や分析ノウハウとの連携を図ることで、「食」の基盤となる1次産業の生産面や、分析を行った食材にどのように付加価値をつけていくのかも含めた、総合支援サービスの展開を目指している。

産学共同による新たな分析技術

同社は、大学等との共同研究を通じた新たな分析技術、バイオ関連技術の開発・研究にも意欲的に取り組んでいる。

北海道大学との共同研究により開発した植物バイオセンサー「検知根」による動物ホルモン検出システムは、食品、化粧品、医薬品原材料などが持つホルモン様活性の分析サービスとして、商品化を実現した。また、健康維持や予防医学の観点から注目されている「抗酸化能」について、札幌医科大学との共同研究を推進。ESR装置(電子スピン共鳴法)による、正確で迅速な抗酸化能分析方法の実用化に取り組んでおり、新しい抗酸化性食品等の開発や探索、および抗酸化能評価技術に取り組んでいく考えだ。